

お手入れ

⚠️ 注意

- 必ず電源を切り、本体が十分に冷えたことを確かめてから行ってください。
- 薄めた台所用洗剤(中性)以外は使用しないでください。(変色、劣化の原因)
- ベンジン、シンナー、みがき粉は使用しないでください。
- 排気口に水が入らないよう、ご注意ください。
- いつまでも快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。



① 排気カバー

- 本体から排気カバーを外し、薄めた台所用洗剤(中性)とスポンジで洗う。
 - たわしやみがき粉は使わないでください。
 - お手入れ後は必ず本体にセットしてください。

② 操作パネル

- 乾いたふきんでふく。
 - たわしなどの固いものでふくと、傷がつくので使わないでください。
 - ベンジンやシンナーは絶対に使わないでください。
 - 水にぬらさないでください。故障の原因になります。

③ トッププレート

- 絞ったふきんでよくふきとり、その後乾いたふきんでからぶきする。



- 煮こぼれなどは、そのままにしておくとしこびりついて取れなくなります。ご使用のたび、こまめにお手入れしてください。故障の原因になります。

- 汚れのひどいときは台所用洗剤(中性)を布に直接つけてふきとり、もう一度絞ったふきん、乾いたふきんの順でふいてください。



- 落ちにくい汚れは、冷えてからトッププレート専用クリーナー (HT-K1) を丸めたラップにつけてふいてください。



※ドライヤーなど先の鋭いものや目の粗いみがき粉は、ガラス面を傷つけるので使わないでください。

天ぷら鍋 (付属品)

- 1 薄めた台所用洗剤(中性)とお湯で洗う。
 - たわしやみがき粉(クレンザー)は使用しないでください。
- 2 鍋底や外側の異物や汚れをとる。
 - 汚れがこびりついたまま使うと、油温を正しくコントロールできないことがあります。
- 3 洗い終わったら水気を切り、乾いたら内側に軽く食用油をぬります。洗ったままにしておきますと錆びる場合があります。



※使用した油は別の容器に移して保管します。

煮こぼれがこびりついてしまったときは

- 市販のセラミック用スクレーパー等で煮こぼれの部分だけを軽く削り落とし、その後よくふきとってください。矢印方向にだけ動かしてください。トッププレートに傷がつかます。



- ※セラミックガラストップクリーナーなどをお使いになると汚れがよくとれますが、あまり強くこすると表面の印刷まで一緒に磨耗する場合がありますので、ご注意ください。

別売品 トッププレート専用クリーナー

- トッププレートの汚れをきれいにおとし、光沢をだし、ふきこぼれによる汚れや焦げつきを防止します。
- ※トッププレートのワクの部分及び排気カバーを磨きますと、表面を傷めますので使用しないでください。

品名：ガラスクリーナー
形式：HT-K1
希望小売価格：1,470円(税込)
2002年9月現在



4 ロースター

ロースタードア・受皿の取り外し、取り付けかた

取り外しかた

- 1 取っ手を持ちゆっくり止まるまで引き出し、斜め上に持ち上げながら外してください。
※受皿内の水や油がこぼれないよう注意してください。



- 2 受皿にのっている焼網を外してください。



- 3 取っ手の下側に手を回し、ロースタードアバネを押えます。



- 4 ロースタードアを受皿側に倒すようにすると、受皿に付いている左右2ヶのツメが外れます。



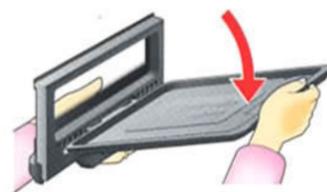
取り付けかた

- 1 受皿に付いている左右2ヶのツメをロースタードアの角穴部に斜め下より差し込んでください。



- 2 ロースタードアを手でささえ、受皿を図のように下げてください。

※カチッと音がして受皿が固定されます。



- 3 焼網をのせてください。

●焼網は支え部をロースターの奥側にしてのせてください。

※のせる向きが反対ですと、本体に取り付けられません。



- 4 斜め上からはめ込みゆっくりロックするまで押してください。



ロースタードア・受皿のお手入れ

- 薄めた台所用洗剤(中性)とスポンジで洗ってください。

※たわし・みがき粉は使用しないでください。

食器洗い乾燥器や食器乾燥器は使用しないでください。
(表面を傷つけます)



焼網のお手入れ

- 薄めた台所用洗剤(中性)とスポンジで洗ってください。

※焼網のフッ素コーティングを傷めないでください。

●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。
フッ素コーティングに傷が付いたりはがれたりすることがあります。

●ご使用の度にお手入れしてください。
汚れがこびりつくと食品が取りにくくなる場合があります。



庫内のお手入れ

- 受皿を取り出し、庫内の油汚れをふきとります。

※絞ったふきんで軽く拭き取ってください。

強くふきますと塗装が傷むことがありますのでご注意ください。



クリーニングのしかた

- ロースター庫内の油汚れを乾燥させ、においを軽減することができます。

●受皿、ロースタードアを洗い、受皿に水を入れず、また焼網をセットせずにロースタークリーニングキーを押した後、スタートキーを押してください。

※約10分で自動的に終了し、通電を停止します。

※焼網は絶対にセットしないでください。
焼網のフッ素コーティングを傷めます。



※クリーニング動作中はロースター庫内の油を焼き切るため煙が出る場合があります。必ず換気扇を使用してください。

途中で終了する場合は、ロースター スタートキーを押してください。

故障かなと思ったら、次のことをお調べください。

<p>通電しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●専用回路のブレーカーが落ちていませんか。 ▶ブレーカーをあげてください。 ●電源スイッチが「切」になっていませんか。 ▶電源スイッチを「入」にしてください。 ●ダイヤルを押した後ダイヤルを回しましたか。 (安全のためダイヤルは押し出ただけでは通電を開始しません。) ●ダイヤルが出ていてリングライトが消灯している時は、ダイヤルを回しても通電を開始しません。一度ダイヤルを押し込んで、再度、押し出してからダイヤルを回してください。 ●チャイルドロックが設定されていませんか。 ▶チャイルドロックを解除してください。(42ページ参照) ●中央ヒーターロックが設定されていませんか。 ▶中央ヒーターロックを解除してください。(43ページ参照)
<p>左右ヒーター(Ⅲヒーター)の火力が弱くなる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●炒め物調理などを行うと、鍋底温度が異常に上がり、自動的に火力をコントロールする場合があります。温度が下がると自動的に火力が強くなるので、そのままご使用ください。 ●鍋底の材質(磁石のつきが弱い鍋、磁石のつかない鍋、アルミに磁性体を貼付けた鍋)によって火力が弱くなる場合がありますが、故障ではありません。
<p>ダイヤルで火力を変えたときに時々ブザーが鳴らない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●とろ火・弱火・中火・強火・ハイパワーの火力表示の切り換わり時のみブザーが鳴ります。同じ火力の目安内ではブザーは鳴りませんが故障ではありません。
<p>中央ヒーターが周期的に赤くなったり、消えたりする。 (クイックラジエントヒーター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●トッププレートの温度の上がり過ぎを防ぐため故障ではありません。 ●中火以下のときは、ヒーターの入/切で火力をコントロールしているためです。赤くなったり、消えたりの間隔は変わります。
<p>左右ヒーター(Ⅲヒーター)の火力表示が交互に点滅し、約30秒後に消灯した。 (小物検知機能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●鍋をのせていますか。 ●Ⅲヒーターで使えない鍋をのせていませんか。(10ページ参照) ▶Ⅲヒーターで使える鍋をのせてください。 <div style="text-align: center;">  <p>左右ヒーターの液晶表示全体が赤くなり、鍋確認を表示。</p> <p>火力表示バーの左6個、右5個が交互に点灯。</p> <p>約30秒後 メロディーが鳴り、液晶表示が消え、通電を停止します。</p> </div> <p>※付属の天ぷら鍋で確認しても同じ場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。</p>

<p>左右ヒーター(Ⅲヒーター)の火力表示が1個ずつ順送りに点灯し、約30秒後に消灯した。 (鍋なし検知機能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●使用中に鍋を外していませんか。 ●使用中に鍋を大きくずらしていませんか。 <div style="text-align: center;">  <p>左右ヒーターの液晶表示全体が赤くなる。</p> <p>火力表示が1個ずつ表示。</p> <p>約30秒後 メロディーが鳴り、液晶表示が消え、通電を停止します。</p> </div> <p>※図は右ヒーターを火力「7」で使用した場合</p>
<p>使用途中にヒーターの通電が停止した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●切り忘れ防止機能が働いています。各ヒーターに一定時間経過すると自動的に通電を停止する、切り忘れ防止機能が設けられています。 ●左右ヒーター、中央ヒーターは操作後約45分 ●ロースター(手動調理)は約20分 <p>切り忘れ防止機能が働いた時はメロディーでお知らせします。もう一度、ヒーター「入」操作より始めてください。</p>
<p>使用途中に停電になった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●通電中のヒーターは停止し、タイマーも取り消されます。 ●電源スイッチを「切」にし、もう一度操作を初めから行ってください。(電源スイッチ「入」から始めてください)
<p>左右ヒーター(Ⅲヒーター)での調理に時間がかかる。調理のできあがりが遅い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●鍋底に異物が付着していたり、トッププレートが汚れていませんか。 ▶鍋やトッププレートのお手入れをしてご使用ください。 ●Ⅲヒーターに適した鍋を使用していますか。(10ページ参照) ▶Ⅲヒーターに適した鍋を使用してください。
<p>左右ヒーター(Ⅲヒーター)使用中に鍋から音がする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●鍋の種類によって、音(ジー音)が発生する場合があります。これは磁力線により鍋自体が振動するため、異常ではありません。 ●鍋の位置をずらしたり、置き直したりすると音が止まることがあります。
<p>電源スイッチを「切」にしても音がする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本体内部の冷却のために、ファンが最大10分間回ることがあります。異常ではありません。自動的にファンは止まります。
<p>表示窓の液晶が黒くなった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●熱い鍋などをのせると液晶が黒くなることはありますが、しばらく放置するとともに戻ります。 <p>※表示窓の上に熱い鍋などをのせないでください。</p>
<p>液晶表示に「M」が表示されたままでヒーターに通電しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一度電源スイッチを「切」にし約2秒後、電源スイッチを再度「入」にし「揚げ物」キーと右Ⅲ「タイマー」キーを同時に3秒以上押してください。ブザーが鳴り「M」が消灯します。

表示窓の液晶表示に次の表示がでたとき

表示例	状 態	処置および調べるところ	
C 11	左ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●鍋底が変形していたり、空焼きになっています。	●鍋底を確認してください。(10ページ参照)
C 21	右ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●炒め物の調理を行うと表示する場合があります。	●火力を下げてください。
C 22	揚げ物温度コントロールを使用したら、右ヒーターの液晶表示が赤く点灯する。	●専用の天ぷら鍋の底に2mm以上のそりがあったり変形しています。 ●専用の天ぷら鍋の底やトッププレートに異物や汚れが付着している。	●そりや変形がある場合は新しい鍋をご購入ください。(8ページ参照) ●異物や汚れの場合はお手入れをしてご使用ください。
H 15	左ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●吸気口にほこりがたまっています。	●吸気口のほこりをふきとってください。(45ページ参照)
H 25	右ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●排気口がふさがれています。	●排気口をふさがらないでください。
H 17	左ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●鍋の種類が違っています。	●鍋の種類を確認してください。(10ページ参照)
H 27	右ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。		
C 61	液晶表示が赤く点灯する。	●電源電圧が異常に高い場合や低い場合。	●コンセントが抜けかけていないか、電源配線に異常がないか確認してください。
C 71	液晶表示が赤く点灯する。	●ロースタードアが開いたままになっています。	●ロースタードアを確実に閉めてください。

表示が出たときは・・・

① C 11、H 15、H 17の表示が出たときは左ヒーターの「切」操作をする。

② C 21、C 22、H 25、H 27の表示が出たときは右ヒーターの「切」操作をする。

※①、②の該当するキーを押すと表示が消えます。再度通電を行い、同じ表示が出たら、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

操作パネルのタイマー表示部に次の表示がでたとき

表示例	状 態	処置および調べるところ	
C 1	ロースター使用時、焼きかけランプの強・中・弱とも点滅する。	●受皿に水が入っていません。	●受皿に水を入れてください。
C 6	ロースター使用時、焼きかけランプの強・中・弱とも点滅する	●電源電圧が異常に高い場合や低い場合	●コンセントが抜けかけてないか、電源配線に異常がないか確認してください。

表示が出たときは・・・

① C 1の表示が出たときはロースターのスタートキーを押す。

※①の該当するキーを押すと表示が消えます。再度通電を行い、同じ表示が出たら、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

※表示窓の液晶表示や操作パネルのタイマー表示部に上記以外の表示がでたときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

電 源	単相200V (50-60Hz共用)	
消 費 電 力	4,800W	
	右ヒーター	2,500W (100W相当~2,500W 11段階火力調節)
	左ヒーター	2,500W (100W相当~2,500W 11段階火力調節)
	中央ヒーター	1,200W (120W相当~1,200W 4段階火力調節)
	ロースター	1,200W (600W相当~1,200Wまで3段階火力調節) (自動調理機能つき)
	待機時電力	0.05W以下 (電源スイッチ「切」の状態)
コードの長さ	3.5mm ² 3芯 キャブタイヤケーブル 0.7m	
差込プラグ	250V-30A (接地極つき)	
大 き さ	本 体	幅599 奥行562 高さ236 [mm]
	ロースター	幅240 奥行360 高さ124 [mm]
質 量 (重さ)	約22kg	

火力調節の目安と火力表示について

■左右ヒーター(Ⅱヒーター)の火力の目安

左右Ⅱヒーター			
火力の目安	バックライト色	火 力	電力[W]
ハイパワー	赤	11	2,500
強 火		10	2,000
		9	1,600
中 火	オレンジ	8	1,400
		7	1,100
		6	800
弱 火	ミドリ	5	500
		4	400
		3	300
		2	200相当
		1	100相当
とろ火			

■中央ヒーター(クイックラジエントヒーター)の火力の目安

火力の目安		火 力 表 示 ラ ン プ				段 階
強 火	1,200W	●	●	●	●	火力 4
中 火	900W相当	●	●	●		火力 3
弱 火	300W相当	●	●			火力 2
とろ火	120W相当	●				火力 1

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

■保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのおと、大切に保存してください。

●保証期間はお買い上げ日から1年です。

※ただし、消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこのクッキングヒーター(Ⅲタイプ)の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。

●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

■修理料金の仕組み

修理料金 = 技術料 + 部品代 + 出張料

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
-----	--

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
-----	--

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。
-----	---

■修理を依頼されるときは 出張修理

「こんなときは」(48ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、専用回路のブレーカーを切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

(ご連絡していただきたい内容)

品名	日立クッキングヒーター
品番	HTW-TS40D
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

■ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられない場合は、前もって販売店にご相談ください。

愛情点検



★長年ご使用のクッキングヒーターの点検を!

●クッキングヒーター(Ⅲタイプ)の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

ご使用の際このようなことはありませぬか。

- スイッチを入れてもヒーターが作動しないときがある。
- こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音がある。
- その他の異常や故障がある。

お願い

故障や事故防止のため、専用回路のブレーカーを切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

◎ 日立ホーム&ライフソリューション株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12 電話 (03)3502-2111